

# わくわく国際交流

深川国際交流協会 広報誌 Vol.15 2004.1



↑ '02 深川市交換留学生 (写真提供: 佐藤有紀さん)



↑ '02 深川市交換留学生 (写真提供: 佐藤有紀さん)



↑ '02 深川市交換留学生 (写真提供: 平将史くん)



↑ '02 深川市交換留学生 (写真提供: 佐藤万里江さん)



↑ トリッサ総務部長宅から見る景色



↑ アボツフォード市と深川市との姉妹都市看板

本誌は、(財)自治総合センターから宝くじ普及広報事業費の助成を受けて作成されたものです。

# 2003 年度深川国際交流協会総会～活動開始 7 年目、そして 8 年目へ～

深川国際交流協会

2003 年 4 月 22 日（火）プラザホテル板倉において、2003 年度の総会が開催されました。  
2003 年度も残り 3 ヶ月となりました。2004 年度の活発な取り組みに向け、これからも会員皆様のご協力をよろしくお願いします。

## 《2003 年度 事業計画》

### ( 1 ) 国際交流協会主催事業

1. 市民レベルでの国際理解の拡充	
国際理解講演会（2 月 15 日） ・市民を対象とした講演会の開催	【国際理解部会】
インターナショナルデー（7 月） ・青少年を対象とした在住外国人等のふれあい事業の開催	【国際理解部会】
ホストファミリー研修会 ・市民を対象とした海外でのホームステイの心構えとホストファミリーとしての外国人の受け入れ方を学ぶ研修会を開催	【受入交流部会】
英会話教室開催（随時） ・初心者向け英会話教室の拡大との共催	【国際理解部会】
日本語教師養成講座 ・協会員、市民から受講者を募る。将来的な留学生への日本語教育指導の布石となる人材を養成する。	【国際理解部会】
ホストファミリー受入体験記（仮称）の作成 ・ホストファミリー受入体験のある方からお話をいただき、次回以降受入を実施する人の参考にしてもらうための冊子を作成する。	【受入交流部会】
2. 市民の海外派遣による交流事業	
青少年カナダ交流訪問団派遣（中止） ・青少年の派遣実施及び壮行会、報告会の開催	【海外派遣交流部会】
市民及び団体の海外派遣（随時） ・市民の海外交流推進に向けた支援の方策を検討	【海外派遣交流部会】
3. ホームステイ受け入れによる交流事業	
フレイザー・バレー大学研修生受け入れ事業 ・研修生の受け入れ体制の準備と実施	【受入交流部会】
その他留学生等の受け入れ事業 ・その他留学生の受け入れ体制の準備と実施	【受入交流部会】
4. 国際交流の基盤	
新規会員の拡充及び各種行事への協力要請活動	
ホストファミリーの新規登録	
通訳・翻訳ボランティアの新規登録	
電子メールによる情報交流と翻訳サービスの手法の研究	
協会広報誌の充実発行	【広報部会】
協会ホームページの充実更新	【広報部会】
深川国際交流カレンダーの作成	【広報部会】
他団体との交流、視察	

「 」は 2003 年度新規事業予定です。

## ( 2 ) 国際交流協会支援事業 ( 市主催 )

1 . 高校生の交換留学支援事業 ( 時期未定 )	
深川から派遣する高校生への事前研修の開催 ・ 数回実施	【海外派遣交流部会】
交換留学生とホストファミリーの集い ・ 交換留学生とホストファミリーによる交流会	【受入交流部会】
留学生の日本語指導 ( 随時 ) ・ カナダからの留学生に対する日本語教育の指導	
日本的文化体験の実施 ・ カナダからの留学生に対する文化体験 ・ 宿泊研修の実施	
2 . 深川市地球の森プロジェクト支援事業 ( 10 月 18 ~ 19 日 )	
ボランティア通訳の協力依頼	

### 組織運営

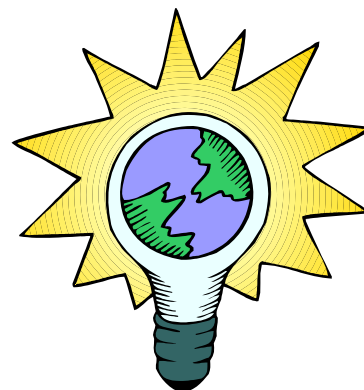
- ・ 広報部会・・・協会全体の広報情報収集・提供
- ・ 国際理解部会・・・市民の国際理解普及事業
- ・ 受入交流部会・・・ホームステイなど外国人とのふれあい事業
- ・ 海外派遣交流部会・・・特定地域との市民交流事業の実施
- ・ 事務局・・・庶務及び会計など他団体との連絡調整

## - 2002年度のあゆみ -

- ・ 2002. 4.12 ..... 総会
- ・ 2002. 4.19 ..... 第 1 回広報部会 ( 広報誌 ( Vol.12 ) の発行について )
- ・ 2002. 4 ..... 広報誌 ( Vol.12 ) 発行
- ・ 2002. 4.30 ..... 第 1 回受入交流部会 ( アボツフォード市公式訪問団歓迎交流会について )
- ・ 2002. 5.11 ..... アボツフォード市公式訪問団歓迎交流会
- ・ 2002. 5.23 ..... やさしい英会話教室を拓殖大学北海道短期大学と共催  
~ 7.16
- ・ 2002 . 5.29 ..... 第 1 回国際理解部会 ( インターナショナルデーについて )
- ・ 2002. 6. 1 ..... 青少年カナダ交流訪問団選考会
- ・ 2002. 6. 8 ..... 第 1 回青少年カナダ交流訪問団事前研修
- ・ 2002. 6.15 ..... 第 2 回青少年カナダ交流訪問団事前研修
- ・ 2002. 6.22 ..... 第 3 回青少年カナダ交流訪問団事前研修
- ・ 2002. 6.24 ..... 第 2 回広報部会 ( 広報誌 ( Vol.13 ) の発行について )
- ・ 2002. 6.26 ..... 第 2 回国際理解部会 ( インターナショナルデーについて )
- ・ 2002. 6.29 ..... 第 4 回青少年カナダ交流訪問団事前研修
- ・ 2002. 7. 3 ..... インターナショナルデーを国際ソロプチミスト深川と共催
- ・ 2002. 7. 3 ..... 第 5 回青少年カナダ交流訪問団事前研修
- ・ 2002. 7. 6 ..... 第 6 回青少年カナダ交流訪問団事前研修
- ・ 2002. 7.12 ..... 第 3 回広報部会 ( 広報誌 ( Vol.13 ) の発行について )
- ・ 2002. 7.13 ..... 第 7 回青少年カナダ交流訪問団事前研修
- ・ 2002. 7 ..... 広報誌 ( Vol.13 ) 発行
- ・ 2002. 7.20 ..... 第 8 回青少年カナダ交流訪問団事前研修
- ・ 2002. 7.23 ..... 青少年カナダ交流訪問団壮行会
- ・ 2002. 7.25 ..... 青少年カナダ交流訪問団派遣  
~ 8. 9



- ・ 2002. 8.18.....第 1 回青少年カナダ交流訪問団事後研修
- ・ 2002. 8.21.....第 2 回青少年カナダ交流訪問団事後研修
- ・ 2002. 9. 3 .....第 1 回理事会（青少年カナダ交流訪問団の報告について）
- ・ 2002. 9. 3 .....ホストファミリー研修会
- ・ 2002. 9.11.....高校生交換留学ホストファミリー研修会
- ・ 2002. 9.12.....第 4 回広報部会（広報誌（Vol.14）について）
- ・ 2002. 9.25.....高校生交換留学ホストファミリー打合せ・カナダ留学生受入
- ・ 2002. 9.28.....交換留学生とホストファミリーの集い
- ・ 2002.10.11.....海外派遣交流部会打ち合せ（高校生の交換留学生事前研修について）
- ・ 2002.10.16.....第 3 回青少年カナダ交流訪問団事後研修
- ・ 2002.10.19.....第 1 回高校生の交換留学生事前研修
- ・ 2002.10.25.....北海道・カナダ姉妹都市会議出席
- ・ 2002.10.26.....第 2 回高校生の交換留学生事前研修
- ・ 2002.11. 2.....第 3 回高校生の交換留学生事前研修
- ・ 2002.11. 6.....第 4 回青少年カナダ交流訪問団事後研修
- ・ 2002.11. 9.....第 2 回理事会（アボツフォード市留学生受入について）
- ・ 2002.11. 9.....青少年カナダ交流訪問団報告会
- ・ 2002.11. 9.....国際理解講演会
  - ・ 「これからの朝鮮半島と日本」北海道新聞旭川報道部長 喜多義憲氏
  - ・ 「アボツフォード市の生活」深川市英語指導助手 デボン・コリーナ・ウイルソン氏
- ・ 2002.11.15.....大滝村フレンドシップクラブ視察研修・アボツフォード市留学生宿泊研修  
~ 11.16
- ・ 2002.11.23.....第 4 回高校生の交換留学生事前研修
- ・ 2002.12. 1 .....高校生交換留学・カナダ留学生帰国
- ・ 2002.12. 6.....第 5 回青少年カナダ交流訪問団事後研修
- ・ 2002.12. 7.....第 5 回高校生の交換留学生事前研修
- ・ 2002.12.15.....高校生交換留学・深川留学生出発
- ・ 2002.12.25.....深川国際交流カレンダー作成
- ・ 2003. 1.14.....第 3 回理事会（高校生の交換留学について）
- ・ 2003. 2.17.....第 5 回広報部会（広報誌（Vol.14）について）
- ・ 2003. 2.23.....高校生交換留学～深川留学生帰国
- ・ 2003. 3.11.....第 6 回広報部会（新年度の取組み等について）
- ・ 2003. 3.12.....第 3 回国際理解部会（新年度の取組み等について）
- ・ 2003. 3.12.....第 2 回受入交流部会（新年度の取組み等について）
- ・ 2003. 3.20.....広報誌（Vol.14）発行
- ・ 2003. 3.24.....海外派遣交流部会（新年度の取組み等について）
- ・ 2003. 4. 2 .....正副理事長会議（新年度の取組み等について）
- ・ 2003. 4.11.....第 4 回理事会（新年度の取組み等について）





## カナダ・アボツフォード 交換留学の感想

'02 深川市交換留学生

2002年12月15日から2003年2月23日の日程で実施された交換留学(深川市 高校生の交換留学生制度事業)の報告として、参加された皆さんに思い出を綴ってもらいました。

### 「日本食」

平 将史

カナダに長期(?)滞在するにあたってもっとも不安だったことはもちろん言葉の壁もあるけど食事のことも不安でした。が、滞在一週間でその不安は吹き飛びました。市内ではもちろんですが、バンクーバーの近くにあるメトロタウン内に大きなスーパーがありそこは主にアジアの食物がたくさん売っていました。多少値段は高いけど海外で食べる日本食はまた格別です。白米、酢、みそはもちろん、日本のスナック、おかし類から生活雑貨まで何でも

買えます。しなくても多少の日本食は購入可能で特に困ることはありませんでした。日本食レストランも多く“SUSHI”の文字を何度も見ました。カリフォルニアまきはメジャーです。僕の場合は滞在中、食べ物で困ることはほとんどありませんでした。ホストもいろいろ気を使ってくれて買ってくれたりしてくれたのが、とてもうれしかったです。

写真はサイモンの家でのディナー、白米もありました。

### 「カナダで過ごしたクリスマス」

小林 朋子

クリスマスが近くなると、街中がクリスマスのイルミネーションでいっぱいでした。特に印象を受けたのが、ほとんどの家がクリスマスのイルミネーションを屋根や、庭に付けていました。ライトでキラキラして、それだけで夜景が綺麗でした。

家の中には大きなクリスマスツリーがありました。「これは小さい方だよ」とホストママが言っていたけど、私にはとても大きく感じました。23日にはいろいろな料理の準備をしていました。いよいよクリスマス当日、オープンから大きなターキーが

出てきました。私は始めて見ました。テーブルいっぱいには並ぶ料理の数々。パーティーには約20人の人が来て多くてびっくりしました。みんなでおしゃべりしたり、ダンスしたりとても楽しい1日で、寝たのは5:00過ぎでした。

本当は25日の朝にツリーの下のプレゼントを開けるんだけど、今年は特別と言って子どもみんなで夜にあげました。

今までに経験したことのないX'masでとても楽しい時間を過ごせることができました。

### 「たくさんまわった古着屋さん」

福岡 友江

私はカナダで本当にたくさんのお店やさんに行きました。しかし、その中で一番印象に残ったのは古着屋さん(second hands shop)です。アボツフォードには5つの古着屋さんがありました。日本では若い子の間で本当に古着がはやっています。だから次回の留学プログラムにはぜひ古着屋さんを加えてあげてください。特に「バリービレッジ」という所がいいです!Tシャツは99¢~3\$(日本円にして80円~240円位)で買えます。他に

もさがせば沢山のほり出し物があります!!特にクリスマスはもっと安くなります。店内全品半額とか大きなスーパーのふくろ一杯に服をつめてたったの5\$(日本円にして400円)とか本当にやすいです!!

次カナダに行かれるみなさんにはほんの少しの服をもっていくことをおすすめします。帰りぎわ絶対あふれるとおもうので!!

## 「カナダで学んだこと」

佐藤 万梨江

私はカナダで生活をしてみて、色々なことを学んだと思います。向こうのホストファミリーの優しさや、自分を本当の家族のように見てくれたことを本当に嬉しかったです。

ホストファミリーと一緒にいったカリフォルニア。すごく楽しくて出会ったみんなとのお別れが本当に悲しかった。カナダでのクリスマスもお正月もアメリカになっちゃったけれど、日本とは本

当に全然違ってすごく華やかでキレイでした。イルミネーションも食事もプレゼントも本当に全然違ってびっくりしました。家族みんなが集まっている時も、私を特別扱いしないでくれてすごく嬉しかったです。

またいつか絶対にカナダに5人で一緒に行って出会ったみんなに会いたいと思います。今回は本当にお世話になりました。

## 「楽しかった10週間」

佐藤 有紀

カナダで過ごした10週間楽しいことがたくさんあったので、全てお伝えしたいのですが、私のごく一部だけお伝えします。

私がカナダで過ごした中で楽しかったことは学校でたくさんの友達ができたことです。

言葉が通じない私を受け入れてくれ、学校内で会うと必ず「Hi!!」と声をかけてくれました。毎日学校へ行って、声をかけられるのが楽しみでした。

学校内で友達が親しくしてくれるのはもちろん、町の人も話し掛けてくれたことが嬉しかったです

マクドナルドで会った赤ちゃんはとっても可愛いくて、そのご両親も色々話してくれました。

そしてお買い物も楽しかったです。メトロタウンのトイザラスではトイストーリーのサリーの大きな人形があって感動しました。

本当に楽しい10週間でした。

## アボツフォード市・バンクーバー市を視察研修の感想

深川市職員の佐藤さん・水本さんは、深川市職員海外派遣研修事業として2003年2月18日から2月26日の期間、カナダのブリティッシュ・コロンビア州アボツフォード市・バンクーバー市を視察されてきました。視察されたお二人の感想を綴ってもらいました。

## 深川市職員海外研修の報告

深川市建設部都市計画課 佐藤 賢治

2003年2月18日から2月26日までの9日間、BC州アボツフォード市・バンクーバー市を視察研修してきました。感じたままを紹介し報告とさせていただきます。

2月18日(火)成田発の飛行機は定刻より約1時間遅れの午後6時50分に出発。

機内はほぼ満席状態で窮屈ではあったが、午前9時55分無事バンクーバーの空港に到着。さすがに日本人は少ない。日本人かな?と思い近づいてみるが、そのほとんどが韓国人のようである。入国審査も無事終わり、やっとカナダへ第一歩を踏み入れる。到着ロビーには、アボツフォード市職員(メアリー・ベスさん)が出迎えてくれており車でアボツフォ

ード市へ向かう。

車の中では、いきなり英語の世界。言葉を理解しよう、何か話をしようと努力している自分に、結構感激しつつも顔が結構引きつっているように思う。

市役所で姉妹都市委員会の方々との昼食会が準備されており、緊張の中での昼食。

話には聞いていたが、日本とは違い話をしながらの食事。会話を聞き取ろうとすればするほど食事が中々のどを通っていかない。

一度にたくさんの方との出会いであり、名前と顔が中々覚えられない。

食事の後、参加者全員の自己紹介。今回市から私と企画課の水本さん(女性)の2名での訪問であり、

両名とも全員の視線に圧倒されつつも、どうにか自己紹介を終えた。

姉妹都市委員会の方々は、私達の下手な英語を理解しようとしている様子がかがえ、大変うれしく思えた。

お国柄なのか、姉妹都市委員会の方々だからなのか、非常に親切であり、気さくでどんな場面の時でも笑顔で話し掛けて来てくれる。そんな所は嬉しいのだが、言葉の壁は初日からでは、中々越えることが出来ない。

今回の訪問の主目的は、あくまでも姉妹都市との交流である。

滞在期間中1人でも多くの人と知り合い、少しでも多く会話の中に入っていきよう自分に言い聞かせる。こうした中、初日の一つのイベントがどうにか終わった。

私の場合、親善交流に加えて、カナダにおける建築事情を自主研修のテーマの一つとして考えていたので、現地見学させていただいた施設等について、若干、紹介したいと思います。

#### ログ・ホーム会社

この会社は、ログハウスの材料を加工し組み立てまでしている会社である。



日本にも輸出しており、東京・大阪に代理店がある。北海道での実績は、釧路・豊浦・小樽に輸出した事がある。最近では年間30～40件程度輸出している。従業員は14名で、日本人スタッフも2人いた。

興味をひいたことは、日本の大工さんが使用している「のみ」と「墨壺」を使用していた。大型の機械以外は、日本の道具の方が便利であるとのこと。（説明してくれた親切な社長さんと、2日後の朝、偶然ホテルの向かいのレストランでご対面！Kenji come on!？その後、約40分間、英会話の勉強をさせられることになる。）

#### イーグルマウンテン

アボツフォード市の西側、小高い丘の高級住宅街。平地は畑などに利用するため、山間地に住宅を建設することが多いとのことである。

カナダの場合、建設する場所が高い位置になるほど見晴らしが良い為、価格も高価になるようである。この地域は土地も500㎡以上と決められており建物も大きく、各戸の庭も広く十分手入れがいきとどき、いかにも高級住宅街といった感じがする。一軒当たりの平均価格も7,000万円くらいである(一般住宅の約3倍)。

(後日お世話になったJTB日本人ガイドの話)

カナダの人は、住宅というものに非常にお金をかけるそうである。日本人のように、お金を貯めるということをあまりしない。

カナダでは、税金が非常に高いが(約50%)、高齢になると医療費が全くかからないし、各種老人施設も充実しており、老後のお金の心配がいらぬ。だからお金を貯める必要性が、日本人ほどないのだそうである。ホームステイをさせていただいた住宅も、3ベッドルームがあり広い住宅であった。(現在夫婦2人住まい)各ベッドルームには、トイレ・バスルームが付いている。

日本では、客間があったとしてもそれぞれの部屋に、トイレ・風呂まで備え付けているところはないと思う。住宅事情の違いといったものがこういう所にも見られる。

ホームステイをさせていただいた、アボツフォード市トリッサ総務部長さんの計らいでアボツフォード・シンフォニーオーケストラによるコンサートに連れて行っていただいた。

会場は教会ではあったが、コンサートに対応出来るような大きな施設である。2階にまで客席があり、300～400人くらいは入っていたように思う。

コンサートに行くこと自体初めての経験である私にとって、何より驚いたのは、司会者から本日のゲストに姉妹都市の深川から来ている、我々2名の名前を紹介されことである。

まさかこんな場面で……。トリッサさんの気配りに、両名とも感激したのは言うまでもない。

アボツフォード滞在中は、アボツフォード市の計らいで、クランベリー農場視察、ピクチャー・フレームーズスクールでの加工体験、メイプル・ウッドハウス老人ホーム視察、レクリエーション・センター視察、フレーザーバレー大学視察、深川から来ている高校生が留学している高校の視察等をさせていただいた。

過密なスケジュールではあったが、全てが良い思い出、経験として残っている。行く先々での親切な対応に、頭が下がる思いである。

さよならパーティー(夕食会)には、メアリー市長さん、ジョージ・タフ日加親善協会会長さん、トリッサ総務部長さん(市職員)、メアリー・ベスさん(市職員)、ジョン・ウィーブさん(合唱団)らに出席していただき、楽しい一時を過ごす事ができました。

パーティーの最後に、滞在期間中のお礼を述べさせていただいたのですが、初日の時のような緊張感はなく、別の意味での感激が込み上げてきました。

今回お会いできた方々は、皆さんとても親切で下手な英語にも耳を傾けてくれる、心の広い方ばかりで初めて海外研修を経験する私でも、どうにか予定していたスケジュールを終える事が出来ました。本当に、感謝しています。

短い滞在期間ではありましたが、当初自分に言い聞かせた「1人でも多くの人と知り合い、少しでも多く会話の中に入って行く」という事については、珍道中の連続ではありましたが達成できたように思っています。  
この海外研修での貴重な経験を、今後の仕事に生か

していかななくてはならないと考えています。また、今後の姉妹都市としての交流に、少しでも貢献できればと思っています。

最後になりますが、今回の研修にあたってご尽力をいただいた、多くの関係者の方々に心よりお礼を申し上げ報告といたします。

## 私のアボツフォード市体験記

深川市企画部企画課 水本 美津子

アボツフォード市には、毎年、青少年カナダ交流訪問団員が派遣され、さらに姉妹都市提携調査団、公式訪問団、そして交換留学生など、すでに100人以上の市民の方々が訪れています。この度、私も佐藤都市計画課長補佐と一緒に、職員の海外研修で訪問する機会をいただきましたので報告いたします。アボツフォード市は、聞いていたとおり深川に似た、のどかな景色が広がり、トリッサ総務部長さんのお宅にホームステイもさせていただきましたが、テラスから見る景色もまた、まるで音江連山を眺めているようでホッとしたものです。

部長さんのお宅は、やさしそうなご主人ロジャーさんも温かく迎えて下さり、家事はすでに退職しているご主人が担当していました。部長さんのお話では、カナダでは、母親が男女に関係なく小さい時から子供に料理を教え、男性が料理をするのは自然なことで、掃除や洗濯もできる人はとても良い男性とのことでした。

カナダで驚いたことは、日本では考えられない野菜を生で食べることです。以前聞いたことはあったのですがやはり驚きました。人参、きゅうりはもちろんですが、ピーマン、マッシュルーム、アスパラガス、ブロッコリー、カリフラワーも生で食べます。りんごもほとんど皮をむかずに食べるそうで、皮と果肉の間に栄養があるからとのこと。飲食店では、その量の多さに驚き、失礼とは思いましたが毎回残してしまいました。

ここで、今回の失敗談をいくつか報告したいと思います。

まず、英語の話せない私は、協会理事の高田真知子さんをお願いし、入国審査などの英会話を約2時間、指導していただきました。練習で滞在日数を聞かれ、とっさに口から出た言葉はなんと「8年間」でした。かなり不安な出発となりましたが、本番では無事クリアできました。この場を借りて、改めて高田さんにお礼申し上げます。

次に、カナダは電話代が安いので(5ドル=約450円で約1時間の国際電話可能)V通訳の石垣さんをお願いし、10ドルのテレホンカードを買いました。カードは、スピードクジのように一部を削って番号を出し、案内に従って番号を入力すれば、残高と通話時間がわかる仕組みで入力番号によって各国の案内が流れます。しかし英語の案内は理解でき

ず、キャッシュカード挿入口にテレホンカードを入れてしまいました。かけ方を紙に書いて教えてもらいましたが、いくらかけても中国語やフランス語の案内が出て何度かけ直したかわかりません。やっと、市役所につながった時は、深川が午前2時頃という始末。警備員さんには、大変ご迷惑をお掛けしてしまいました。

バンクーバー空港での警備は厳しく、外套も脱いでカゴに入れ、セーターとズボン姿で探知機を通ったのですがブザーが鳴ってしまいました。腕時計が鳴ったとしか思えませんでした。

最後は、また電話に関する失敗ですが、帰国の日、バンクーバー空港からトリッサ部長さんに一言お礼を言おうと思い切って市役所に電話をしました。ありがとうだけ言って、メアリー・ベスさんの電話番号を教えてもらったつもりで電話しましたが、かかった先はなんとメアリー・リーブス市長さんで本当に驚いてしまいました。同じメアリーさんでも、やはり私の発音が悪かったようです。

このように、いろいろ失敗をしましたが、アボツフォード市での4日間、綿密なスケジュールを組んでいただき、トリッサ総務部長さん、メアリー・ベスさんをはじめ日加親善協会、V通訳など多くの皆さんに大変お世話になり、たくさん温かいもてなしをいただき良い思い出を作ることができました。このことは、これまで両市の多くの方々が御苦労されて交流を積み重ね、姉妹都市を提携し、着実に築いてきた姉妹都市交流の成果の現れであると痛感し感謝いたしました。お世話になった皆さんに心から感謝申し上げますとともに、あらゆる分野の市民の方々が相互に訪問しあい、友情を育み、両市の交流の輪が益々広がり末永く続くことを願っています。



トリッサ総務部長宅での夕食会



## インターナショナルデー開催される

2003年7月15日に、深川市プラザホテル板倉にて、インターナショナルデーが開催されました。その内容と参加した梶川さんの感想を掲載します。

参加者：97名（中高生・その他会員78名、AET等外国人13名、事務局6名）

17:00 総合司会：中川部会長

主催者挨拶：国際交流協会理事長小瀧氏、国際ソロプチミスト深川会長杉村氏

外国人紹介：ステージ上で簡単な自己紹介（出身地、プロフィールなどそれぞれ自己紹介）

17:20 連想ゲーム

17:50 コーヒーブレイク

18:20 外国人による日本の不思議当てクイズ

18:50 感想発表（グループごとに発表）

《主な内容》

- ・英語の勉強を頑張って、また参加したい。
- ・今年初めて参加した。他の人と知り合えてよかった。
- ・今日はここに来る事ができて良かった。
- ・3～4年参加している。いろんな人と勉強や交流できる場。今後も続けてほしい。
- ・2～3年前より面白かった。
- ・今年は2回目の参加であり、去年より面白い。高校生になっても来たい。
- ・とても楽しかった。
- ・初めてで、英語がわからなかったが楽しかった。

19:00 主催者お礼：深川国際交流協会 国際理解部会長 中川氏

## '03 インターナショナルデーの感想

深川国際交流協会 国際理解部会 梶川 いく代

- ・毎年の事であるが生徒が集まるかどうか心配であったが例年並の参加がありほっとした。
- ・ゲームの打ち合わせの時間があまりなく、当日はぶっつけ本番に近い状態だったためか、こちらの思惑通りに進行しないのであせってしまった。
- ・参加者の英語レベルが年々向上しているように感じるが、その一方でゲームで同じ人ばかりが手を挙げ回答している場面も見うけられた。
- ・外国人と会話するのを楽しみにしてきたのに、外国人どうして固まり、話の輪に入っていけなかったという参加者の声を聞いた。
- ・今年は最後に参加者の感想を聞いて終了したが、それはそれで有意義だと思うが、やはり全員でダンスや歌でもりあがって終わった方が参加意識が出て良いように思う。
- ・今後に向けて、できれば若い人を構成メンバーに入れてゲームやその他の企画と一緒に考えていただき、参加者により楽しんでもらいたい。また、外国人からの受身でなく、日本独自の文化、例えばお茶、習字、おりがみなどを彼らに楽しんでもらえるような企画も良いのではと感じた。





↑ インターナショナルデーの様子



↑ インターナショナルデーの様子



↑ インターナショナルデーの様子

### 募集しています！

- ☺ 「ホストファミリー」 …………… 現在 43 家族の方が登録されています。
- ☺ 「通訳・翻訳ボランティア」 …… 現在 23 名の方が登録されています。
- ☺ 「深川国際交流協会会員」 …… 現在、一般会員 98 名、学生会員 3 名、賛助会員 45 団体です。



【問い合わせ先】深川国際交流協会事務局（深川市企画課） ☎26-2215

## 世界に発信する深川地球市民



【広報誌発行責任者】谷口保幸（広報部会部会長）

【広報誌編集担当】深川国際交流協会 広報部会

編集長：南部雄二 副編集長：橋本 信

編集委員：高橋保之・池田敏江・稲田伸人・今井敏雄・大野昌子・上垣由紀子・北本清貴・小橋厚子・鈴木美彦・高橋昇  
坪井義広・寺下良一・橋向利勝・広野勝利・藤岡順子・三ッ井隆博